

鹿児島県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査（陰性）
について

<鹿児島県、熊本県同時発表>

令和2年1月28日（火）

1月22日にA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子の陽性反応が確認された鹿児島県出水市で回収されたヒドリガモ1羽の死亡野鳥について確定検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されませんでした（陰性）。

1. 経緯

- | | |
|-------|---|
| 1月18日 | 鹿児島県出水市でヒドリガモ1羽の死亡個体を回収 |
| 1月20日 | 死亡個体の簡易検査を実施した結果、陰性 |
| 1月22日 | 国立環境研究所が遺伝子検査を実施した結果、陽性
回収等地点の周辺10km圏内（鹿児島県及び熊本県の一部）
を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化 |
| 1月28日 | 鹿児島大学が確定検査を実施した結果、 <u>A型鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった（高病原性鳥インフルエンザは陰性と判定）</u> |

2. 今後の対応

- (1) 現地での野鳥監視重点区域での監視を通じて野鳥の大量死等は確認されていません。このため、現在指定している野鳥監視重点区域は、本日11時に解除します。
- (2) その他「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.htmlに掲載）に準じて、引き続き、野鳥の監視を始めとした必要な対応をします。

【添付資料】

- ・今シーズンの野鳥における鳥インフルエンザ検査状況等

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室	
直通	03-5521-8285
代表	03-3581-3351
室長	川越 久史（内線 6470）
室長補佐	西野 雄一（内線 6675）
係長	小西 美代（内線 6477）
担当	近藤 千尋（内線 6676）

今シーズンの野鳥における鳥インフルエンザ検査状況等
(令和2年1月28日 11:00 現在)

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査	監視重点区域指定状況
1	新潟県	阿賀野市	ヒドリガモ	R1/12/19	R1/12/24 (陰性)	R1/12/26 (陽性)	R2/1/2 (陰性)	R1/12/26 指定 R2/1/2 解除
2	鹿児島県	出水市	ヒドリガモ	R2/1/18	R2/1/20 (陰性)	R2/1/22 (陽性)	R2/1/28 (陰性)	R2/1/22 指定 R2/1/28 (11時) 解除

※死亡野鳥調査のうち、簡易検査又は遺伝子検査で陽性となった案件のみ記載
しています。

※今回の案件は太枠内となります。